

ファイサル アザイザ

## 経歴概要

ファイサル アザイザ教授は、ハイファ大学のソーシャルワーク校において社会福祉及び健康科学部の教授を務めています。2002年と2009年の間にハイファ大学のユダヤ・アラブ・センターのセンター長、現在はソーシャルワーク校の学長を務めています。



現在は IASSW の理事会の構成員として活動しています。研究及び出版物はイスラエルにおけるユダヤ・アラブ関係、特に教育的な文脈、また社会的なニーズからみたイスラエルのアラブ系人口の福祉と保健医療、健康問題、サービス提供システムを含みます。アザイザ教授は数十年に渡ってイスラエルにおけるアラブ系状況の改善に関わっており、労働福祉省において多くの役職、例えば本省顧問協議会の構成員などを担ってきました。2002年から、イスラエルの高等教育協議会 (CHE) の構成員で、現在は高等教育協議会においてイスラエルにおけるアラブ系人口の高等教育アクセシビリティの促進に関する委員会の委員長であり、CHE の企画予算委員会の委員です。

IASSW ビジョン声明

## ファイサル アザイザ教授

国際ソーシャルワーク学校連盟 ( IASSW ) の構成員として活動してきた中で、我々の組織は複数の夢とビジョンをもっていると分かりました。しかし、アイデアは予算的制約によって制限されています。組織内の様々な部門における活動に必要な十分な予算を獲得するために、各種財団に提出する企画書を書くように努めたいと思います。その結果、個人とコミュニティの生活の質を改善するソーシャルワークの使命、そして世界中で質の高いソーシャルワーク教育を達成する IASSW の使命をより効果的に発揮することができます。

私のもっているもう一つの目標は、IASSW が、途上国一般、特にアラブ諸国において更にソーシャルワーク校の発展を支援することです。なぜなら、これらの国々においてソーシャルワーク校が不足しているからです。これらの国々において階層移動を支援し、雇用率と労働市場への参加を高め、( これらのコミュニティにおける高くなりがちな ) 貧困率を下げ、多様な社会に向けた架け橋を作るために、IASSW に高等教育へのアクセスも促進して欲しいです。全ての人々にとって高等教育へのアクセスの機会を増やすための優先課題の一つは、高等教育進学が不十分な人口の進学を促すことです。その方

法は、 1 ) 高等教育への主要なバリアを取り除くことと、 2 ) 個人の高等教育への進学を妨げる文化的な差異を尊重することです。ソーシャルワーカーが不足しているコミュニティに機会を与え、ソーシャルワークを目指すように働きかけたいと思います。世界中で文化的な感受性に関する教育を提供する国際ソーシャルワーク課程の設立も推進したいと思います。